



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2020

6

Bulletin
2020.6.1発行
第34巻第12号通巻414号

主
題

国際会長 はい、私たちは変えることができる “Yes we can change”
アジア会長 アクション “Action”
西日本区理事 風となれ、ひかりとなれ ころろ豊かにあるために 輝くために
京都部部长 限界を超える “Y's Power? No limit!”

聖
句

キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

エフェソの信徒への手紙 5章 2節



「今期を終えて」

第34代会長 小野 敏明

平成から令和に変わった節目の年に2回目の会長を拝命した。

『守るために変えてゆこう、少しづつ』との主題を立て5年後、10年後のクラブを守るために必要な改革を模索し、実行してゆくことに尽力し、澤田次期会長へ引き継ぐ思いであった。

上昇するメンバーの平均年齢、奉仕クラブに対する認識の違い、YMCAに対する忠誠の度合いなど、メンバーの意識を整えクラブが向かうべき方向性について議論を重ね、一貫性のあるクラブ創りの足が掛りになればと考えた。

具体的には、奉仕の力の源泉は『親睦』からやってくると考え、月2回開催される例会を軸に親睦や議論を深める施策を考案。フレンドシップ例会と題した例会を開催し、メンバー間の意見交換や、各委員会での懸案事項などをメンバー全員で共有できる例会を開催し議論できる場を設けた。

また、親睦強化の為に『一泊野外例会』を企画。貸切バスをチャーターし『富士山YMCA』へ一泊2日の日程で例会を企画。クラブメンバーはもちろん、DBC先との親睦を図れる場とし、YMCA理解へも繋がる機会と捕らえた。

期が始まった7月のキックオフ例会より順調に例会や事業を消化。各事業も委員長の方によりプリンスクラブらしい誠実で一貫性のある奉仕活動ができ、大変満足のゆく半期であったと振り返る。

半期が過ぎ、歴史に残る年となる令和2年(2020年)が幕を明けた。年明け早々にイラン危機勃発。それに伴う株価暴落など不穏な年明けとなった。また、アメリカではインフルエンザが大流行し死者数が数万人に及ぶ被害。新年例会ではそれらの事象を不穏な年明けとし挨拶に用いたことを懐かしく感じる。

この頃すでに武漢ではコロナ禍による都市封鎖が始まっており、ニュースにはなっていたが、まだまだ『対岸の火事』程度の扱いであったと記憶している。その為、私の判断としては、後期も通常どりにクラブを運営してゆく心構えであった。しかし、転機が訪れたのは3月末に判断された『オリンピックの一年延期』と『志村けんさん死去』ではなかったかと思う。世の中の雰囲気は一変し、現在に至るまでの過程は皆様が経験された通りである。

<次ページへ>

会長主題

守るために
変えてゆこう
少しづつ

会長	小野 敏明
副会長	廣井 武司
	今西 英隆
書記	岸 裕也
会計	飯尾 豊
ネット会長	小野 瑞穂

強調月間

評価・計画

6月 例会案内

3日(水) 通常例会
Zoomを使っての初めてのオンライン例会。みんなの顔が見れるかな。

20日(土) 引継例会
今年は、京都YMCAで、引継のセレモニーのみで、行う事になりましたが、盛り上がり行こう。

例会出席

5月第一	中止
5月第二	中止
在籍者数	17名
メーキャップ	0名
出席率	--%

BFポイント

切手	0pt
現金	0円
累計	16,000円

ファンド

	0円
	0円
累計	352,362円

ニコニコ

5月第一例会	0円
5月第二例会	0円
累計	51,500円

<前ページより>

プリンスクラブとしても、4月～5月までの例会を全て中止。6月第一例会より通常例会をホテルにて開催できると淡い期待を抱いていたが敢え無く中止。しかし、4月より準備を進めていたZOOMによるリモート例会という形で、6月第一例会を開催できた事はクラブにとって財産になったと考える。また、引継ぎ例会も形を変える必要があるが、開催する方向でメンバーが一丸となった事を大変嬉しく思います。また、6月に『例会』が開催できた事は、次期につなげる上で大変大きな力となったと考えます。

先行きが全く不透明なコロナ禍の時代。一度立ち止まって振り返り、原点について議論するにはとてもよい機会ではないでしょうか。今期の主題である『守るために変えてゆこう、少しづつ』としましたが『少しづつ』では間に合わない時代になってゆくのかもしれません。

最後になりましたが、未曾有の国難の最中、ご尽力頂いた三役並びに委員長の皆様、クラブメンバーの皆様、大変お世話になりました。正直に申しますと6月の例会も諦めていたのですが、三役始めメンバーの皆様の後押しにより開催できた事について大変感謝申し上げます。来期もメンバー一丸となり澤田次期会長を盛り上げてゆきましょう。

私の幼少期から高校生まで

榎木 徳子

私は3人姉妹の三女として生まれました。今では珍しい三世代大家族で、祖父母はもちろん、最初は叔母も一緒でした。

父は昔の国鉄に勤めていて夜勤もあり、明けのときは静かにするよう気を使いながらも忘れて騒ぎ、怒られたのを覚えています。でも普段は優しく、よく遊んでくれ、手先が器用だったので、手作りの遊具なども作ってくれました。母はというと、人間的にも器用なタイプではなく、大家族の中で苦労したと思います。

三人姉妹のいわゆる末っ子だったので、皆にかわいがられ、自由に育てられたせいか、私は小さい頃から活発で、保育園ではどちらかというと仕切るタイプだったように記憶しています。(今と一緒にですという声が聞こえてきそう)

ところが小学校に入ると上がいて、少し勢いがなくなりました。今でこそゴルフをしたり、体を動かすのが大好きですが、運動は苦手で(ただ短距離走と敏捷運動だけは得意でした)、体育の時間は嫌いでした。(ゴルフが上達しないのは、元々なかった身体能力のせいと諦めています)どちらかというと本を読んだりするほうが好きで、小学生の頃はSFものにはまっていました。今でも歴史ものとか、時間を超えて想像する本のほうが好きです。

元々音楽が好きだったので、小学5年生から学校の器楽クラブでフルートを始めました。フルートを選んだのは、女子のあこがれだったからです。でもフルートは見かけの優雅さとは裏腹に、息が半分出てしまうので、管楽器の中では肺活量が必要です。でも家でも頑張っって練習し(田舎だったので、苦情が出ることもありませんでした)、中学に入ってからもブラスバンド部でフルートを三年間吹きました。今でもブラスバンドの得意分野であるマーチや、大会で演奏したホルストの「惑星」を聞くと血が騒ぎます。でも、今フルートが吹けるかということ全く自信がありませんし、基本、楽器は少しでも毎日練習する必

要があるので、またやろうかなとは思いません。(防音でもしない限り、近所から苦情がくるでしょう)中学の3年間はクラブも一生懸命、受験勉強も頑張り、充実していました。

高校に入ってからとはいうと、女子高だったのでブラスバンド部がなく(今は女子高でもブラスバンド部があるところも珍しくありませんが)、かといって他に興味をひくクラブもなく、ぶらぶらしていました。勉強もそれなりにしていました。今思えば中途半端な3年間でした。

高校卒業と同時に家を離れ、今に至りますが、18歳までの生活が自分のベースを作ったことは明らかです。

これからの生活をどうするのか、この記事を書きながら改めて考えさせられました。十分なことはできていませんが、プリンスの皆様、これからもどうかよろしくお願いいたします。



1. 三条YMCA会館貸館利用を再開いたします
 三条本館ご利用について、6月1日（月）より再開いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止のための、お部屋の定員の設定、利用に際してのお願いをワイズメンズクラブ京都部より、各クラブ会長またはメール委員宛に送信しておりますので、ご確認いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

わたしやみんなを病気から守るために
 いまできること



YMCA はいのちと暮らしを守るために子どもとご家庭に伴走します。

5月度 役員会報告	6月 スケジュール	6月 Happy Birthday
<p>報告事項 ●事業報告書を6月13日までに提出</p> <p>承認された事項 ●6月第一例会をZoomにて開催する ●引継例会をセレモニーのみ京都YMCA 101教室にて開催。コロナ感染対策に配慮して行う。 ●ホテルを使って例会が出来なかった5回の例会費を返却する。</p>	<p>3日(水) 第一例会 20:00 オンラインにて</p> <p>13日(土) 西日本区引継式 15:00 計画工房IT様事務所 Zoomにて中継配信</p> <p>20日(土) 引継例会 17:30 京都YMCA 101教室</p>	<p>3日 田中 邦昭 6日 榎木 徳子</p> <p style="text-align: center;">編集後記</p> <p>皆様の原稿投稿のご協力に感謝いたします。 一年間、ありがとうございました。</p>